

松原市一般廃棄物処理基本計画（素案）に係る
パブリックコメントの実施結果について

○意見提出期間

令和6年1月10日（水）から2月8日（木）

○公表の方法

市ホームページ、市役所1階情報コーナー及び環境政策課窓口

○意見提出方法

郵送、ファクシミリ、電子メールまたは直接持参

○意見提出状況

意見総数 15件

○意見の内訳と対応

- ① 意見を反映させるものとして内容を修正したもの 1件
- ② 意見の趣旨等が既に素案に盛り込まれているため、素案のとおりとしたもの 2件
- ③ 意見の反映をせずに、素案のとおりとしたもの 3件
- ④ 意見が要望や感想などであるため、素案へ直接反映はしないが、今後の施策の参考とするもの 9件

○実施結果

パブリックコメントを実施した結果、松原市一般廃棄物処理基本計画（素案）内容について、一部修正を行います。

（修正内容及び理由）

素案の32ページにおける基本理念の考え方の部分について、いただいた意見のとおりと考えましたので、当該ページにSDGsの目標を追記するため、文言を修正し、現在掲載しているSDGsにおけるゴールのアイコンに4、11、17のゴールのアイコンを追加しました。

提出された意見の概要と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

①意見を反映させるものとして内容を修正したもの

	意見	対応
1	計画素案の32ページについて、SDGsの目標が12、14しか記載されていません。教育に関する視点（SDGsの4つ目）も本計画に記載されていますし、何より市民、事業者、行政が協働する必要があることからパートナーシップに関する目標（同17個目）も記載するのはどうでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 ご意見のとおりと考えましたので、計画素案の該当ページにおいて、基本理念の考え方の部分における文言の修正及びSDGsにおける4、11、17に係るゴールのアイコンの追加を行います。

②意見の趣旨等が既に素案に盛り込まれているため、素案のとおりとしたもの

	意見	対応
1	<p>36ページの図4-3と44ページの図4-10を比較しました。集団回収について、R5年度の数値が現状施策よりも目標達成時が低くなるのは後ろ向きに捉えられるかと思えます(目標年度の原単位が増えていくことに加え、R5年度はもう終了するのでそこまでこだわりませんが)。ただし、43ページの②では紙ごみを6.7g 集団回収へ排出促進させるとありますが、現状29g/人・日から目標達成35g/人・日しか増えていません。四捨五入を行うのなら目標達成時は36g/人・日になるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>36ページの図4-3の推計値の算出方法ですが、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、通常と異なる排出量であったため、その実績を控除して回帰式で推計しています。その影響もあり、令和元年度の実績を受けた推計となるため、種類によっては一時増加(コロナ禍の反動)になることもあります。</p> <p>また、集団回収の目標達成時の数字の件ですが、小数点以下も計算しているため35g/人・日となります。</p> <p>【計算式】</p> <p>① 現状施策で推移した場合 $= 28.66 \text{ g/人・日}$</p> <p>② 目標を達成した場合(43ページの目標値を①に加える) $28.66 \text{ g/人・日} + 6.7 \text{ g}$ $= 35.36 \text{ g/人・日}$</p> <p>③ ②を四捨五入 $\Rightarrow 35 \text{ g/人・日}$</p>
2	<p>本計画の名称ですが、生活排水を対象としていないことから「松原市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」とするのはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画内で対象廃棄物の範囲について明記しておりますので、計画の名称は変更しないものとします。</p>

③意見の反映をせずに、素案のとおりとしたもの

	意見	対応
1	<p>9ページの資源ごみ等からの再生資源量(図2-10)が令和元年度から増加していますが、何か要因はあるのでしょうか。さらに推進することはできないのでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>資源ごみ等からの再生資源量が令和元年度から増加している要因につきましては、集団回収活動の縮小により、本来、集団回収により回収されていた古紙等の紙ごみが行政回収に回ったためであると考えております。</p> <p>また、本計画目標では、元々排出されている資源ごみを含めて廃棄物の総量を減らして、可燃ごみ等に含まれている資源化可能なごみの分別の徹底により資源ごみに移行させて、リサイクル率を向上させることとしています。</p>
2	<p>42ページ(3)①について、容器包装プラスチックの資源ごみへの排出を全量(市民の75%が協力してくれて、その75%の人が容器包装プラスチック全量を資源物として排出すると理解しました)行う設定としていますが、洗っても取れない汚れが付着していることも想定されますし、洗うことによる生活排水の増加も懸念されます。もう少し緩い設定とするのはどうでしょうか(可燃ごみ中の容器包装プラスチックの割合が7.8%は十分低いと思います(調べると、人口規模が似ている門真市では可燃ごみ中の25%がプラのようです。本市では十分に資源化できているのでは?それとも本市の7.8%は湿重量の割合?))</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>この割合は、ごみの分別をいつもしていない人(アンケート調査から市民の約40%)の内、75%の方が今後分別をするといった想定で計算しております。</p>

	意見	対応
3	<p>資源物の回収量が年々減少しています（8ページ参照）。</p> <p>集団回収が減るのは少子高齢化社会を考慮するとしようがない事だと思います。無理に集団回収を促進するような施策は持続可能性が低いのではないかと考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>確かに少子高齢化も進み、集団回収の主となる新聞紙等も発行部数が減少しているのも現実です。しかし、本計画においては活動の担い手でもある自治会の存続等も含めて施策は必要であると考えます。</p>

④意見が要望や感想などであるため、計画案へ直接反映はしないが、今後の施策の参考とするもの

	意見	対応
1	18ページ以降の現状施策の課題について、これまでの取組に対して十分に分析されており、課題が明確化されているのが素晴らしいと感じました。課題の解決に向けてしっかりと取り組んでいただきたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 今後の取組の参考にさせていただきます。
2	48ページ以降の具体的な施策は充実した内容であると考えます。また、継続、重点、新規といった区分をされており、市民も読んでいてわかりやすいと感じます。食品ロス削減推進計画策定についてもホットな話題であり期待するところです。	ご意見ありがとうございます。 今後の取組の参考にさせていただきます。
3	具体の施策（43ページ～56ページ）について、市が取り組む書き方となっていますが、市民や事業者も市と同じ温度感で取り組む必要があると感じました。57ページに3者の位置付けが記載されていますが、もっと強調しても良いのではないかと感じました。	ご意見ありがとうございます。 市民や事業者に向けては、ご指摘の通り、今後も広報や様々な媒体を通じて情報提供していきたいと考えております。
4	56ページの一般ごみ有料化については、実施によりごみ量の減少も見込めることから、ぜひ検討を進めて欲しいと思います。特に収集運搬については最もコストがかかる作業であると思いますので市民の適正な負担率の設定等、周辺自治体の状況も踏まえながら検討してほしいです。	ご意見ありがとうございます。 今後の取組の参考にさせていただきます。

	意見	対応
5	<p>17ページに前計画の数値目標の達成状況が記載されています。</p> <p>ごみ排出量の未達成の原因として、在宅ワークや巣ごもり消費が挙げられています。家庭系可燃ごみの1人1日当たりごみ排出量を見ると、平成29年度から増加傾向となっており一概に在宅ワークや巣ごもりが影響していると言えないのではないのでしょうか。平成29年度の電話申込制の実施により、平成28年度から不燃物(55→25)、粗大ごみ(64→22)の一人1日当たりごみ排出量が減少しています。この減少分が可燃ごみに移行したのではないのでしょうか(電話が煩わしい人が可燃ごみに入れてしまう?分別率の悪化?)。いずれにしてもこれまでの施策が不足していたか、市民の意識醸成が出来なかったことも要因であると思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>確かに、ごみの分別区分の変更とそれに伴う可燃ごみへの誘導及び不燃物・粗大ごみとして収集したもののうち可燃性粗大ごみを選別し、可燃ごみとして処理したことにより、不燃物・粗大ごみが減少し、可燃ごみが増加しました。しかし、目標値が未達成となっているのは、コロナ禍における在宅ワークや外出自粛等での巣ごもり消費による家庭系ごみの増加が主な要因であると考えております。</p> <p>次期計画におきましては、目標の達成に向け施策を充実させるほか、市民のごみ減量に対する意識醸成に向けた情報発信を強化していきたいと考えております。</p>
6	<p>42ページ(1)③詰め替え容器を毎月5個使用する設定です。我が家ではほとんどの製品を詰め替え容器に移行していますが、多くても月2個くらいしか詰め替えません。シャンプー、リンス、洗剤の他にどのような種類の詰め替え容器があるのでしょうか。情報提供頂けると助かります(我が家でも取り入れます)</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>既に詰め替えを実施されている方は継続して頂きたいですが、アンケート調査では市民の8割程度の方がまだ毎回実施されていないため、その方々に向けての啓発を強化していきたいと考えております。また、シャンプーや洗剤等以外の詰替商品に関しても積極的に広報や様々な媒体を通じて情報提供していきたいと考えております。</p>

	意見	対応
7	<p>その他の資源物ですが、収集曜日が限られているので、店頭回収や24時間排出できる民間事業者に排出している市民も多くいるかと思えます。</p> <p>その結果、市として把握できる資源物の量が減少しているのではないのでしょうか。例えばスーパーマーケット(把握している範囲だとイオン、ライフ、マンダイ、サンプラザ、じゃんぼ、サンディ、アプロ、KINSHO等)に排出されている量を把握することはできないのでしょうか。</p> <p>兵庫県の三木市の一般廃棄物処理基本計画では店頭回収量も計上されており、より実態に即した計画であると感じました。松原市でも同様の取組ができるとなおよいのかと思えます。三木市は人口8万人弱で店頭回収量年間550tくらいです。本市だと600t以上の店頭回収量となるのでは？</p> <p>資源化率も2%程度改善されます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
8	<p>37ページの図4-4のごみ排出量の予測ですが、事業系ごみが人口減少とともに減るのは違和感があります。特にセブンパークやイオンタウンについては本市の人口が減少したとしてもごみ排出量が人口減少と同じ割合で減少するとは考えにくいと思えます。</p> <p>そこで、事業系ごみの予測をg/人・日ではなくt/日やt/事業所数で予測するのはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>計画見直しの際には事業系ごみの予測に関しては、再度検討することとします。</p>

	意見	対応
9	<p>家庭ごみの削減（４１ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1日当たり15.3gの減量化を目指します。 ・ 詰め替え容器の利用促進によるごみの削減→1.6g（４２ページ） <ul style="list-style-type: none"> 容器の平均的重量→42.4g 各世帯削減個数（想定）5個／月 協力率（想定）60% <p>しかし、文章だけではわかりにくいので、図やイラスト、文字で具体的にわかりやすく市民に伝えてほしいです。</p> <p>以前”広報まつばら”に、カラス防止ネットの利用を呼びかけたイラストはとてもわかりやすかったから。</p> <p>◎1日15.3gと具体的な数字があれば面倒な詰め替え容器の利用もがんばれると思います。家庭ごみの減量化は、毎日の努力と継続です。是非わかりやすいかたちで市民に伝えてください。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市民に向けて、ご指摘の通り、今後も広報や様々な媒体を通じて情報提供していきたいと考えております。</p>